

江津高校 × 江津工業高校 × 江津清和養護学校 高校生フリーペーパー

あおはる

52 HEROES

vol. 20

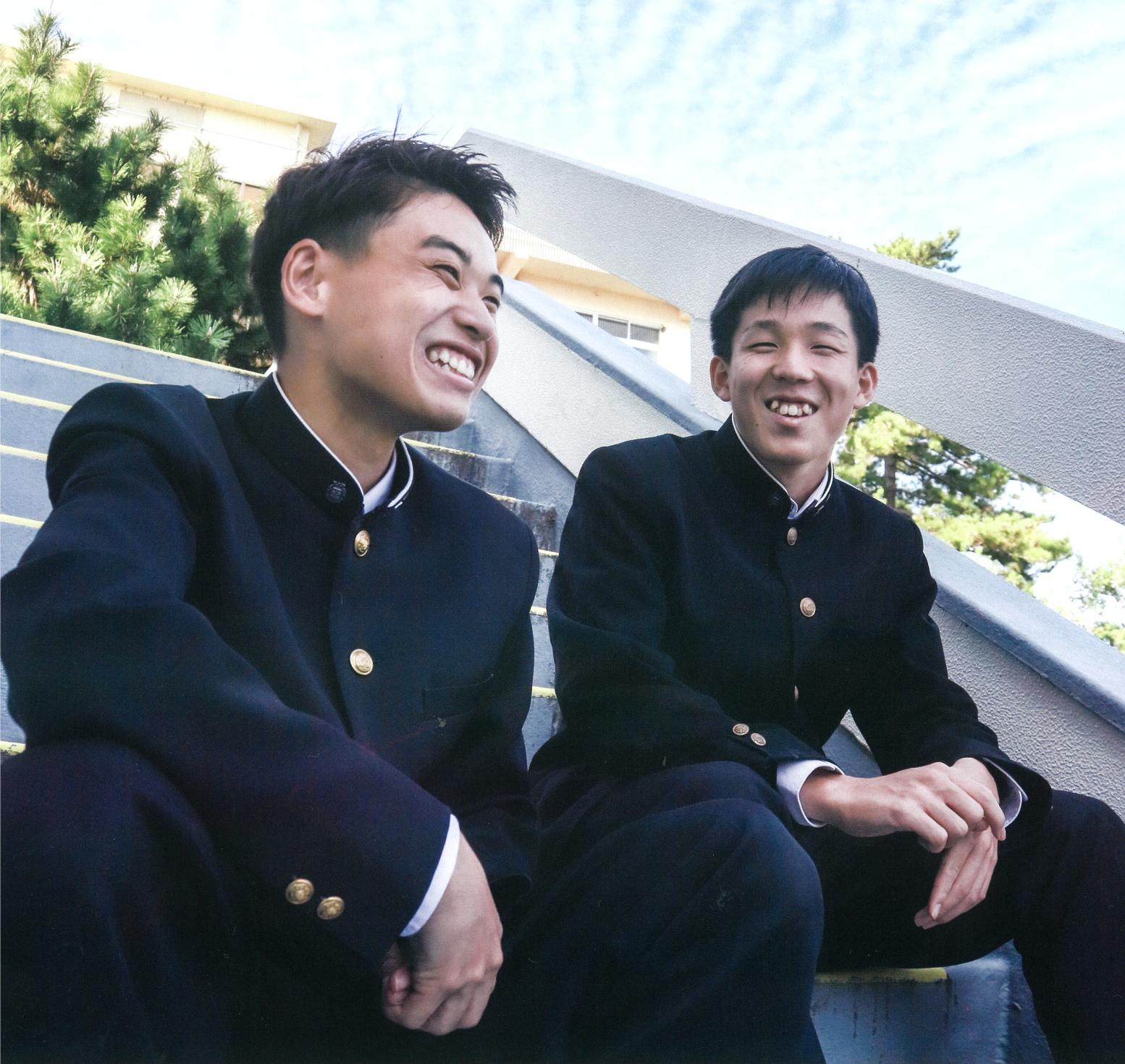
2024.11

Free paper for
students, parents and
local people

Publisher: GOTSU CONSORTIUM

Edit: TEGONET-IWAMI

Design: D52





地域の学びを通して輝かせる自分の原石
自分のペースで、自分の個性で。

島根県立江津高等学校

〒695-0021 島根県江津市都野津町 293 tel.0855-53-0553(代)

<https://www.gohtsu.ed.jp/>



ハンドボールを通して 自分に厳しくなった

3年生 竹内 快地（青陵中学校卒）

ハンドボール部

中学校3年生の時に参加した江津高校のオープンスクールでのハンドボール部体験が楽しかったので、入学後に入部を決めました。部活動は私を含めて初心者が多く、初めは体力面などできついこともありました。先輩たちが優しく教えてくれたので、楽しく続けてこられました。私の学年は同級生の部員数が多いので、チーム内でのポジション争いがありました。元々、私は負けず嫌いな部分があり、「出場メンバーに選ばれたい」、「インターハイに出場したい」という想いを叶えるため、自分に負荷をかけたり、家でも練習に取り組んできました。結果的に出場メンバーとして選ばれ、インターハイにも出場できること、県内の試合では特に優れたプレーを見せた選手に贈られるベストセブン賞を貰えたことがとても嬉しかったです。

江津高校のハンドボール部は、未経験でも、努力すれば試合で活躍できるという点がお勧めです。



地域活動で企画力が身についた

2年生 二宮 綺萌（江津中学校卒）

地域活性部・ソフトテニス部



地域活動を通して企画力が身についたり、大学生とも関わりを持つ機会のある江津高校はお勧めです。

入学後に入部した地域活性部で声がかかり、地域のイベントにボランティアとして参加しました。ボランティアでは一緒に取り組んだ大学生や来場されるお客さんと関わることを楽しく感じ、もっと深く関わりたいと思って、その後に予定されていた地域のイベントには企画段階から参加しました。私はイベントでスタンプフリーを企画するチームに入り、たくさん的人に参加してもらい、楽しんでもらうこと目標に取り組みました。

中学校までの私は、何かを企画した経験がほとんど無かったため、迷うことや悩むことも多くありました。同じチームの大學生が率先して取り組んでくれたので企画を進めることができました。イベント当日は、たくさんの人に楽しんでもらえたことで、喜びと達成感で満たされた気持ちになりました。



“ものじゃない、なりたい自分をつくるんだ” 島根県立江津工業高等学校

〒695-0011 島根県江津市江津町1477 tel.0855-52-2120

<https://www.gotsu-th.ed.jp/>



神楽とものづくりへの 情熱が進路を決めた理由

建築・電気科 3年生 濱吉 聖瑛（浜田第一中学校卒）



小さい頃から神楽をやっていて、自分で幕を張ったり、神楽の天蓋を作ったりして、ものづくりが好きになりました。また、叔父がハウスメーカーで働いており、自分の家も建てていて、かつこいと思ったので江津工業に入りました。

正直最初は、中学校から比べて人数も少なくてつまらないと思っていたのですが、せっかく高校来たのに思い出がないなと思って、資格に挑戦し始めました。資格は普通に落ちるし、難しいこともあるけれど、取れたときは嬉しい気持ちが一番ですね。今3つほど資格を持つていて、今も3つほど挑戦しています。

卒業後は働きながら神楽がしたいと思っています。2年生の半ばくらいまでは県外へ出たいと思っていたのですが、コロナが明けて神楽を舞う機会が増え、今までやったことがない演目を舞つて、やっぱり楽しい、これからも続けていきたいなと思ったので、島根に残ることにしました。



ゲーム開発への情熱が 導いた大学進学の夢

機械・ロボット科 3年生 本川 諒磨（江津中学校卒）

ソフトテニス部



勉強があんまり好きじゃなかったので、家から近くで、専門のことを勉強できる江津工業に入学しました。江津工業は、授業も硬くなくて、自由な雰囲気があって過ごしやすいです。

今は大阪にあるゲーム作りを学べる大学に行くために面接練習や英語の勉強などを頑張っています。自分は、小学校くらいからゲームが好きで、ゲーム関係の仕事につけたらと思っていました。高校生になり、進路を改めて考えた時に、やっぱり体を動かすよりも椅子に座ってゲーム開発をしてみたいと思ったので、ゲームを作るノウハウを学ぶことができる大学へ進学したいと思いました。

進路は高校に入る時は決まっていかつたけれど、頑張つたら大学もいけると言われて、進学したいと思いました。自分はチームで協力して遊べるゲームが好きなので、これからも勉強を頑張って、面白いゲームを作れるようになります。



島根県立江津清和養護学校

〒695-0001 島根県江津市渡津町 772番地

TEL 0855-52-2613

<https://sites.google.com/ict.shimanet.ed.jp/gotsuseiwa/>



地域の方々とかかわりながら
生きる力をはぐくむ

社会と本校児童生徒の双方で
心が動く活動に取り組んでいます

江津清和 × 江津工業高校・
江津高校・島根中央高校
木のおもちゃ作りを通して、
木のおもちゃ作りを通じて、

5月に、本校の小学部児童と、江
津工業・江津高校・島根中央高校の
3年生40名がリモートでつながり、高
校生の皆さんには本校児童に向けての
木のおもちゃ作りに取り組みました。
当日は、まずリモートで「対面」。「こ
の子に向けて作るんだなあ」と知つて

もらつた後、事前にお伝えしていたお
ちやの大きさや形を参考に、高校
生の皆さんにはおもちゃ作りに取り組
みました。

後日、完成した木のおもちゃを、
江津工業高校のものづくり部の皆さん
が持つてくれました。高校生
の皆さんに、本校の児童は二三回の
笑顔で対面。おもちゃを渡してもら
い、全身を使って木の感触を確かめ
ていました。

海洋漂着ごみ × 芸術
ごみを用いてアート作品を作り、
ギャラリーに展示しよう

高等部3年生は、地域課題を「海
洋ごみ」に設定し、ごみ削減の啓発
や拾ったごみをアート作品にして校
外で披露する場を設けることで地域
活性化の一助としていと学習を進め
てきました。波子まちづくり活性化
協議会の皆さんと交流しながらごみ
拾いを行い、発砲スチロールのごみがた
くさんあることなど、活動を通して知
ることができました。さらに、地域の
方々の「海を守りたい」という思
いをもちながら海岸整備を行っておら
れることも、知りうることができました。



波子の皆さんに感謝



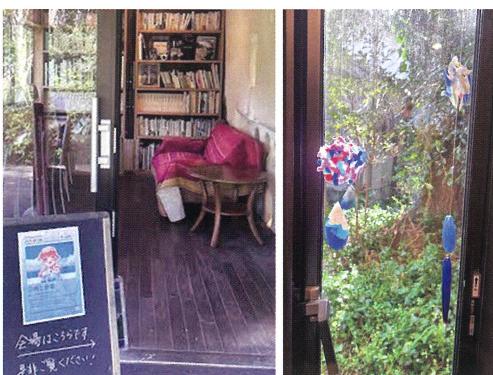
ごみ拾い中

後半は本校へ戻り、アートベースしまねいろの栗山様より、海洋ごみをアートにおいておられる作家についてや、アートへ転換する視点についてアート（自分の自由に表現する）とデザイン（対象者がいて用途に合わせる）があると

こうことを、教えていただきました。生徒は、最後に拾つておいたごみなどを見ながらイメージを膨らませ、作品を作りました。できた作品は、風のえんがわさんのギャラリーに展示させていただきました。



拾ったごみを、アート作品にしようとしています



ギャラリーに展示させていただきました



リモートで交流中



手をのばして、おもちゃを受け取りました

GO GOTSU!

NPO 法人てごねっと石見
担当：藤田 / 齋ヶ原

tel : 0855-52-7820 mail : iwami@tegonet.net

GO GOTSU!コンソーシアムは学校を超えて、様々な人、企業、地域、学校が協働し、
お互いがいいちな自分に出会うことができる協働の種を探っています。
協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。